

あなたもこうちこどもファンドで活動してみませんか？

まだこどもファンドで活動したことがない方は、「活動の具体的なイメージが湧かない」「応募してみたいけど、あと一歩が踏み出せない」といった悩みや疑問があるかもしれません。そこで、こどもファンド卒業生の田部未空さんに突撃インタビューを実施。活動して感じたことやこどもファンドへの思いなど、率直な感想を教えてくださいました。

【活動してみようと思ったきっかけは？】

行川中学校（現・行川学園）1年生のときに「こども審査員をやってみない？」と誘ってもらい、審査員になりました。その時に「こんなことをやりたいんだ！」という活動団体のこどもたちの熱い想いをプレゼンテーションで聞かせてもらって、「うらやましいな」「私もそういう思いを持ちたいな」と思ったんです。それがきっかけで、2年生のときに「今度は活動してみたい」と思うようになりました。



田部 未空さん
(高知大学地域協働学部1年生)

【どんな活動をしましたか？】

平成26・27年度に、「Food Treasure Hunter in Namegawa! (行川くいしんぼ隊)」という団体で、行川地域の魅力を発信する活動をしました。1年目は、「地域の魅力を人に伝えるためには、まず自分たちが地域のことを知らないといけない」と思い、地域のおばあちゃんたちに料理に関することなどを教えてもらいました。ただ、1年目は調べたことを外に発信できないまま終わってしまい、それではもったいないと感じていました。なので、2年目は聞き取る料理の数を増やして、「食のカタログ」という郷土料理のレシピ集（右写真は表紙）を作り、地域内外に発信しました。また、実際におばあちゃんに習った料理を、敬老会でふるまったりもしました。



▲蒸しうかんや生姜の天ぷらなどの作り方や、活動内容を掲載したレシピ本。

【活動する中でどんなことを感じましたか？】

もともとは高知にあまり愛着がもてなかったというか、「高知って何でこんな所なんだろう」とみたいな気持ちが自分の中にあっただけです。でも、こどもファンドで活動をしていくことで、自分の中で何かが変わりました。高知で生きる意味というか、「高知で私が何かしたい！」と思えるようになったんです。そういう強い意志を持てるようになったのは、こどもファンドで活動したおかげだと思うし、人とのつながりが増えたり、自分から外に発信していく言葉の力も磨けたと思います。あとは、活動したことで「自分は人と話をして、知らないことを知ることが好きなんだ」ということにも気付くことができました。それが「島根県の離島にある高校へ進学したい」「高知大学の地域協働学部に入りたい」と思うことに繋がりました。将来は「自分の持ち味を生かして、高知で活動したい」と思っていて、そういった目標を持てるようになったことが一番大きいんじゃないかなと感じています。

【こどもファンドで活動してみたい！と思っている人へのメッセージ】

「イベントを成功させたい」といった大きなことじゃなくても、身の回りの小さなことを変えていくことでまず自分に変化があると思うし、周りの人にも変化が生まれて、地域が良くなることに繋がるんじゃないかなと思います。そのきっかけを作ってくれるのが、こどもファンド。「こうしてみたらいいんじゃないかな？」って思うことに対して、大人やたくさんの方が応援してくれます。ほんの少し勇気を出せば活動できるので、ぜひやってみてほしいです。

皆様の善意をお寄せください

子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。寄附の手続きは簡単ですので、地域コミュニティ推進課までお気軽にご連絡ください。詳細はホームページでもご確認いただけます。なお、寄附金については税制上の優遇措置があります。



令和元年5・6月にご寄附をいただいた皆様

企業・団体様

●三愛石油カスタマーサービス株式会社
代表取締役社長 八田 聡子 様

ほか1社

平成31年4月以前にご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。



【発行元・問い合わせ先】高知市地域コミュニティ推進課（高知市鷹匠町2-1-43）

TEL : 088-823-9080 E-mail : kodomofund@city.kochi.lg.jp URL : <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/>

こどもファンドの情報を発信中！こちらからぜひ「いいね」をお願いします。



こうちこどもファンド通信

編集・発行：高知市地域コミュニティ推進課 (TEL 088-823-9080)

こうちこどもファンド助成団体が決定しました！

令和元年度の助成団体を定める公開審査会において、応募全12団体の助成が決定しました。



応援してね♪

●令和元年度助成決定団体

団体名	活動内容	助成額
旭地区防災食プロジェクト	○災害時に備えて、地域の防災食となる野菜を栽培 ○旭地区内における防災啓発や活動内容をまとめた広報紙を発行	20万円
土佐山宣隊 6ネンジャー	○土佐山地区の魅力を発見し、それらを反映したオリジナル看板を作成・設置	20万円
ふんわりシスターズ	○高知市の商店街を子どもの目線で調査 ○パンフレットの作成・配布やSNSでの情報発信を通じて、魅力を発信	16.5万円
高知とさじゅく広報部	○こうちこどもファンドでまちづくり活動に取り組む子ども達取材 ○動画を作成し、「高知市の人の魅力」をインターネット等を活用して全世界に発信	20万円
太平洋学園コミュニティ協力隊	○防災キャンプや地域住民との交流を通じて、防災に関する学習を実施 ○地域内における防災啓発を実施	20万円
Juvenile	○災害発生時に共助ができるような関係を地域で作ってもらうために、そのきっかけになるような交流会（イベント）を開催	20万円
朝倉中学校生徒会	○レクリエーション等を実施し、朝倉地域内の交流を深める活動を実施 ○学校をイルミネーションで飾りつけて明るくするなどの防犯活動を実施	19.9万円
おおつっ子	○大津地区における防犯劇の企画・発表 ○看板等を作成し、地域内における防犯啓発	20万円
Co-CREATOR	○望海が丘団地の「防犯・ごみ・交通安全等」の現状を把握し、啓発ポスター等を作成	8万円
久重naturalチーム	○星に関する学習を行い、地域内外の方を対象とした星空観測イベントを開催 ○久重地域で採れる食材について学習し、災害時に役立つ保存食として調理	20万円
AOYAGI 地域盛り上げ隊	○絶海池の清掃活動や高須地区のコスモス畑のPR活動を実施 ○生誕150年を迎える濱口雄幸について学習し、五台山地区の魅力を発信 ○上記の活動内容をまとめた広報紙を作成	20万円
Village Jamboree	○愛宕商店街を活性化させるために、地元に住む子ども目線で「愛宕の人」取材 ○愛宕商店街の魅力を発信するため、毎月1回のペースでフリーペーパーを発刊	20万円

令和元年度

こうちこどもファンド公開審査会を開催しました

6月16日(日)、令和元年度の助成団体を定める公開審査会を開催し、応募全12団体の助成が決定しました。

今年は「食」「防災」「地域交流」「広報」などさまざまなテーマで、各団体から活動提案がありました。審査員の子供たちは、事前に決めた評価ポイントを基に各団体へ質問を行い、公開協議を経て、全体への助成を決定しました。

審査会の詳細などをまとめた報告書は、地域コミュニティ推進課のホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



▲助成団体①旭地区防災食プロジェクト



▲助成団体②土佐山宣隊 6ネンジャー



▲助成団体③ふんわりシスターズ



▲助成団体④高知とさじゅく広報部



▲助成団体⑤太平洋学園コミュニティ協力隊



▲助成団体⑦朝倉中学校生徒会



▲助成団体⑨Co-CREATOR



▲助成団体⑪AOYAGI 地域盛り上げ隊



▲助成団体⑥Juvenile



▲助成団体⑧おおつっ子



▲助成団体⑩久重naturalチーム



▲助成団体⑫Village Jamboree

こども審査員(10人)



古谷委員



前田委員



増田委員



水沼委員



西森委員



戸田委員



宇賀委員



森本委員



田部委員



吉本委員